

# 経済情勢専門家座談会

田中 修

## はじめに

習近平総書記は7月8日、経済情勢専門家座談会を開催した。このような座談会は4-6月期GDP発表前に例年開催されているが、通常は総理が主催しており、総書記が主催するのは異例である。本稿では、座談会の概要を紹介する（新華網北京電2014年7月8日）。

## 1. エコノミストの発言

座談会には王戦、劉世錦、李揚、林毅夫、胡鞍鋼が出席し、国際経済情勢、わが国の経済発展の推進、経済構造調整の推進、金融行政・政策の強化<sup>1</sup>、対外開放の拡大、経済ガバナンスの強化等について考えを述べた。

彼らは、次のように認識している。現在わが国の経済発展は多くの有利な条件を備えており、経済運営のファンダメンタルズは良好である。経済構造調整は積極的な成果を挙げしており、改革全面深化は徐々に推進されており、長期発展の楽観的見通しを実現している。

同時に、世界経済情勢は錯綜し複雑であり、わが国経済発展にもたらす不利な影響が増大していることをも見て取らねばならない。冷静に観察し、各種リスクの隠れた弊害に対して早期に準備し、防御を強化する必要がある。

彼らは次のように提起した。安定の中で前進を求める政策の総基調を堅持し、マクロ政策の連続性・安定性を維持し、経済運営における際立った問題に対し、現在・長期を共に配慮した政策措置を有効に実施しなければならない。とりわけ改革実施を強化し、わが国経済社会の発展のために不断に動力を提供し、わが国経済社会の発展の活力を増強しなければならない。

## 2. 習近平総書記のコメント

我々が確定した奮闘目標を実現するには、経済建設を中心とし、発展を党の執政・興国の第一の重要任務として、経済の持続的で健全な発展を不断に推進しなければならない。**発展は、経済ルールを遵守した科学的発展でなければならず、自然のルールを遵守した持続可能な発展でなければならない**<sup>2</sup>。

各レベルの党委員会・政府は、政治経済学をしっかりと学びうまく用い、経済発展ルールを自覚的に認識し更に好く遵守しなければならない。改革開放の推進、経済社会の発展の指導、経済社会発展の質・効率の向上のための能力・水準を不断に高めなければならない。

---

<sup>1</sup> このためか、座談会には人民銀行の周小川行長も出席している。

<sup>2</sup> ゴチックは筆者。

18 回党大会は「2 つの百年」という奮闘目標を確立し、党中央は中華民族の偉大な復興という中国の夢を実現しなければならないと提起した。これは現在、全党・全国・各民族・人民が共同でそのために奮闘しなければならない目標である。この目標は、中華民族のマクロの目標であるのみならず、各人・各家庭・各方面の大衆の願望と利益が結びついたものである。

発展は絶対的の道理であり、経済建設を行うことは「2 つの百年」という奮闘目標を実現する重要な基礎であり、国家の繁栄・社会の安定・人民の幸福の重要な基礎でもある。我々は国情に立脚し、条件への変化に応じて、経済発展方式の転換を加速し、経済構造調整を加速し、改革全面深化の歩みを加速し、資源配分における市場の決定的役割を発揮させ、政府の役割をさらに好く発揮させなければならない。

わが国は健全な発展を持続する有利な条件を備えており、我々はわが国の発展の主動権をしっかりと把握している。方式の転換と構造調整は民心・大勢の赴くところである。

我々は歴史・人民に責任を負うという態度に基づき、**改革・発展・安定の均衡点を正確に把握し、短期目標と長期目標の均衡点を正確に把握し、改革・発展の注力点を正確に把握し、経済社会の発展と人民生活の改善の結合点を正確に把握して、方式の転換・構造調整・民生の維持・持続可能な発展の推進の方面で実際の成果を不断に挙げなければならない。**

18 回党大会・18 期 3 中全会は中国の特色ある新しいタイプのシンクタンクの建設、政策決定の健全な諮問制度の確立を要求している。本日の経済情勢専門家座談会は、この政策決定・手配を実施するうえでの重要な体現である。各方面の専門家・学者の意見を広範に徴取し、これを制度化することは、党の執政能力・国家のガバナンス能力の向上にとって重要な意義を有する。

広範な専門家・学者が実際・大衆・末端に深く入り込み、大衆の声に耳を傾け、真実の状況を掌握し、広範に調査・研究を行い、研究に打ち込み、正しい知識と明快な判断という成果を不断に挙げて、党中央の科学的政策決定のために建言・献策を行い、政策決定の科学化・民主化のために多くの貢献を行うことを希望する。

(7 月 9 日記)